

新栃木県産業集積活性化基本計画の概要

計画のポイント

- ・ 本地域は、大手メーカーの研究所、製造工場が数多く立地している他、それらを支える基盤技術の集積も進んでいる。より一層の集積促進と既存事業者の高度化を図り、開発から製造までを担うことができる一大集積地域を目指す。
- ・ 区域内の産学官が連携し、企業ニーズにあった研究開発、人材育成、支援措置を展開する。

1 集積区域（14市12町）

宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

2 指定集積業種

自動車・航空宇宙関連産業、医療機器・医薬品関連産業、光産業、環境・新エネルギー関連産業、食品及びその関連産業

3 集積区域における指定集積業種に係る成果目標

（目標年次 平成29年度）

○付加価値額	2兆7,542億円	○企業立地件数	140件
○製品出荷額の増加額	4,400億円	○新規雇用創出件数	3,000人

4 目標に向けた事業環境整備等

○産業用地の確保

既存の産業用地の有効活用や、新たな工業団地の開発により、企業ニーズに対応した産業用地を提供する。

○人材の育成と確保

技術者確保のため、高等教育機関での人材育成を行うほか、すでに活躍している技術者を対象に研修会や技術指導により技術力の向上を図る。また、企業OBを活用し、技術・経営の問題解決にあたる。

○技術支援

産学官連携を推進し、各大学において産業界のニーズに合った独創的な研究を推進する。また、公的支援機関では企業間交流の促進、分野別技術交流会の実施、最新の技術情報の提供等を行う。

